

円形脱毛症のSADBE療法について

人工的にかぶれを起こして発毛を促す治療です。かぶれはSADBEという物質で誘発します。
そのため「SADBE療法」と呼ばれています。
日本皮膚科学会の提唱する治療ガイドラインでは推奨度Bに分類されています。
(推奨度Bとは、行うよう勧めるという見解です)

方法

- ① 1%SADBE溶液を脱毛症の部位あるいは上腕内側に48時間貼付します。
(48時間に満たなくても、痒み、痛みがひどい場合は貼付を中止し洗浄します。)
- ② 2週間後再度受診していただき、かぶれが起きていることを確認させていただきます。
- ③ 脱毛部に低濃度のSADBE溶液を2週間に一度外用していきます。
- ④ 軽度の痛みが2,3日続く濃度まで徐々に上げていき、同濃度で継続します。
- ⑤ 発毛が認められてからも3,4週間に一度外用を継続します。

副作用

・接触皮膚炎・自家感覚性皮膚炎・リンパ節腫脹・毒麻疹・アトピー性皮膚炎の悪化

症状がひどい場合はSADBE療法を中止し、
抗アレルギー剤内服、ステロイド外用などで治療します。

担当医師からSADBE療法について、
その方法、効果、副作用について詳しい説明を聞き理解しました。
この治療を受けることに同意します。

月 日 氏名

〒241-0826 神奈川県横浜市旭区東希望が丘105-1
TEL: 045-364-8081



やまぐち呼吸器内科・
皮膚科クリニック